



3-2    現状・課題	他団体等との協働の有無・協働主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市民(個人・家庭)	<input type="checkbox"/> NPO・市民団体	<input type="checkbox"/> 区・町内会	<input type="checkbox"/> 企業・農協・商工会	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 国・県・市町	<input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> なし	
	他団体等と協働し行った事業内容・各々が担った役割	市	第5次総合計画を策定する際、政策マーケティング(グループインタビュー10回・92名、理念出しワークショップ1回・市民アンケート調査)により、サイレントマジョリティ層の意見を把握した。パブリックコメントは、6事業について実施した。							
		市民(個人・家庭)	総合計画策定に係る公募市民の策定メンバーであるまちの未来を描き隊は、政策マーケティングによって把握した「めざすまちの姿(目標)」の成果指標、めざそう値、役割分担値など作成のための研修会に参加した。							
	事業実施により効果があったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画策定業務では、研修会等を実施し必要な知識や意識の向上を図っているところであるため、具体的な成果これからですが、市民の参加機会を設けたことで参加者の行政への関心が高くなったこと、また、直接話す機会が増えたことで市民が感じていることを聞くことができた。</li> <li>パブリックコメント制度では、いただいたご提言・ご意見に対し市の考えを示すことで、市政に対しての相互理解が深まった。</li> </ul>								
	事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5次総合計画は新たな手法で策定しているため、従来の総合計画策定の意識が抜けておらず戸惑いもみられる。</li> <li>パブリックコメント制度の課題は、寄せられるご提言・ご意見が少ない。</li> </ul>								
	課題に対する改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5次総合計画策定の手法をしっかりと理解できるように、会議の最初などに繰り返し伝える。</li> <li>パブリックコメント制度の周知と意見募集の情報提供を継続的にやっていく。</li> </ul>								

4 ■新規事業

新規事業	事務事業の目的達成のためにできる新たな取組み(可能な限り協働の視点重視)	第5次豊明市総合計画の目標である「めざすまちの姿」の達成度を計る「まちづくり指標」について毎年アンケートを実施する。								
	協働者となり得る主体・協働し担う役割	市	毎年のアンケート調査によって、めざすまちの姿(目標)を実現するために、より有効な事業を検討し実施する。							
		市民(個人・家庭)	毎年実施するアンケート調査への協力をする。							

5 ■事務事業の総合評価結果

総合評価の結果	結果	審査会による改善方向の指示							
	平成25年度	B	市民ニーズや目標の達成度を定期的に把握していくような制度の構築を検討すること。						

6 ■次年度事業への反映

事務事業の方向性内容	B 改善	第5次豊明市総合計画の目標でもあるめざすまちの姿の達成度を計る制度の構築を検討します。また、従来からの(パブリックコメント、タウンミーティングなど)市民ニーズ把握のための制度が、より機能するための手法を検討します。							
------------	------	---	--	--	--	--	--	--	--